

令和4年度

こども園の自己評価表

吉野川市立川島こども園

【評価対象期間】

令和4年4月1日から令和5年2月28日

【評価責任者】

吉野川市川島町栗村2421-1
吉野川市立川島こども園

管理者 井上 和恵

こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目

◎ 保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、0歳児から小学校就学前までの幼児の成長を見据え、一貫した保育・教育を行っている。教育課程では年度初めに幼児の実態に合うよう見直しをしている。 「幼児期の終わりまでにそだってほしい10の姿」についての理解を深め、幼児一人一人の育ちを見守りながら実践できるようにしている。 また、積極的に研修を受け、取り組むべき課題に関して共通理解を図って
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				0歳児や1歳児、個別に支援が必要な園児について、一人一人の記録や個別支援計画を立案し、一人一人の特性に応じた援助ができるよう配慮している。全体的な計画、年間指導計画を基本とし、保育日誌で日々の保育を振り返り、次月の指導計画を立案している。毎月の指導計画でも評価を行い、考察・反省を記録し、次年度や次月の指導計画作成に活かしている。
	(2) 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				年齢による発達に即したプログラムであり、園児の興味関心を大切にしながら、必要に応じて柔軟に対応している。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者に協力を得て、行事内容を検討しながら、工夫して行った。 職員会議では行事について協議し、共通理解を図りながら協力して取り組んだ。実施後は反省会を行い、反省・評価をしながら今後活かせるようにしている。 保護者には、保護者会において開催時期や内容について協議を行ったり、アンケートをとったりして行事を行った。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経 営 ・ 組 織	分 掌 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				職員配置を工夫し、協力できる体制づくりを実施している。シフト勤務のため、各クラスが連携を図りながら、保育を進めている。日々の職員配置は全職員が把握できるように所定の場所に掲示している。そして職員の協力体制を基に、仕事の分担・割り当てを行い、仕事を進めるようにしている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運 営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				職員会議を定期的に行い、情報交換や共通理解を図っている。会議内容は記録し、回覧したり、会議に出席している職員が各クラスの職員・フリーの職員に周知するようにしている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年 齢 別 ・ ク ラ ス 経 営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				こども園教育・保育要領に基づき、教育・保育内容に関する全体的な計画を作成している。各クラスの指導計画は全体的な計画に基づき立案している。計画の中では前月の園児の姿を記入し、それに基づいて園児の遊びや活動を計画している。また、支援が必要な園児については、加配担当職員を配置し、担任と連携を図りながら、個別指導計画を作成し、一人一人に応じた支援が実践できるように努めている。また同年齢及び異年齢間において、常に連携を取り合って保育を行っている。各計画・記録は定期的に提出ができています。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○			
		(4) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保 健 ・ 安 全 指 導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				毎朝の立哨や園外保育等を通して、保護者や園児に駐車場や横断歩道の安全確認・渡り方等の指導をしている。また、毎月避難訓練を行い、安全管理に努めている。年2回は消防署と連携を図り、訓練を行っている。園児の健康管理には送迎時等に連絡を密にとっている。感染予防対策を年齢に応じて行い、マスクの着用・手洗いの励行を行っている。保育室は換気・消毒等を十分に行っている。感染症発生状況は掲示して知らせたり、ほけん日より啓発したりしている。新型コロナウイルス感染状況についてはメールで発信している。
(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○					
(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○					
つ 情 報 に 関 する	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか。	○				個人情報保護方針を策定し、園児や保護者等の個人情報の保護に努めるよう全職員に周知している。個人情報が含まれる書類等の取り扱いについては、情報が見えないように十分配慮し、管理や処理を行っている。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
施 設 ・ 設 備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				遊具、消防用設備、建設設備等について、専門業者による点検を行っている。職員による遊具点検も定期的に行っている。不審者対応として、延長保育の保育室や2階職員室にモニターを設置し、園周辺の様子をチェックしている。各階の出入り口を施錠している。保護者のお知らせについて、その都度各階の掲示板やエントランスの掲示板を有効活用している。感染症の発生状況は各階での専用ボードにクラスごとの状況を知らせるようにしている。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○					
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出 納 経 理	(1) 保護者会会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				保護者会役員会において、予算案、会費の利用状況を説明し、適正に処理している。	

項目	内 容	評 価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたことも園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		今年度小学校の協力もあり、数名の職員が学校を訪問し、授業等参観することができ、今後の保育の参考となった。また、体験入学をすることができ、年長児が小学校の雰囲気を楽しむことができた。 今後も年長児が小学校との接続ができるよう、小学校との連携を図っていきたい。 中学校とは職場体験等、感染予防をしながら、交流の機会をもつことができた。
		(2) 参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○		
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		園児や保護者のプライバシー保護や安全対策や感染予防対策のことを考えると、保護者以外を対象にした参観日は難しい。今年度も引き続き交通ボランティア、老人会の方が立哨指導を実施していただき、登園時に園児の安全を見守ってくれている。 また、感染症予防対策より、ほとんどの地域交流が実施できなかったが、人数制限・時間短縮等工夫をしながら中学校や一部老人会との交流を行うことができた。今後も感染状況を見ながら、交流の仕方を考えていきたい。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			園の感染状況に応じて園庭開放を中止にしたりしている。日頃から検温・消毒・換気等を徹底し、感染予防対策をとりながら実施している。 保護者を対象にした研修は例年参観日に行っているが、今年度も密を回避することが困難であるため、実施できていない。 園児の発達や個別の支援方法について、市の保健師と専門機関の職員による巡回訪問を年2回実施し、指導を受けている。配慮を要する園児については、一人一人に応じた指導計画を作成し、外部の専門機関と連携をとりながら、指導している。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			各クラスの活動を定期的に紹介するドキュメンテーションを掲示して保護者にわかりやすく知らせるようにしている。 まちコミメールでは災害時・感染症等必要なことについて知らせている。 月初めには地域の新聞販売店発行の広報誌に園の行事予定を掲載している。
(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。			○				
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価は今後導入していかなければならない課題である。 毎年、保護者による評価アンケートを行い、意見の把握に努めている。結果は保護者に公表し、次年度の運営に活かすようにしている。	
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				